

第3章 プランの基本的な考え方

1 プランの理念

次代を担う子どもや青少年は、社会にとって、希望であり未来の力です。このプランは、子どもを産み育てやすく、子どもや青少年が心身ともに健やかに自立した責任感のある大人に成長するための環境づくりを目指しています。そのために、次の3つを理念として、家庭、地域、学校、事業者、行政が連携して、子育て支援、子どもや青少年の健やかな成長の支援に取り組んでいきます。

(1) 子どもと青少年の育ちを大切にす

次代の親となる子どもや青少年は、個人として尊重されるべき、未来を担うかけがえのない存在です。子どもや青少年自身の育ち、幸せを第一に、その利益が最大限に尊重されるよう配慮します。

(2) 多様な子育て家庭を支援する

子育ての第一義的な責任を有する親やその他の保護者は、子どもが心身ともに健やかに、そして家族の絆や家庭の温かさを感じながら安心して過ごせる家庭環境をつくり、守っていくことが求められます。子育ての孤立化等の問題も踏まえ、子育てと仕事の両立支援だけでなく、男性を含めた働き方の見直しや男女が協力し合って子育てする意識の定着など、仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）を重視しながら多様な子育て家庭を支援します。

(3) 社会全体で子どもと青少年をはぐくむ

次代を担う子どもや青少年は社会の宝です。このことをすべての市民が認識し、あたたかい心で子どもや青少年をはぐくみ、子育て家庭を支援します。子育てしやすく、子どもと青少年が健やかに育つ環境づくりに社会全体で取り組みます。

2 プランの目標

第2章の子どもと青少年を取り巻く現状と課題に対応するため、前述の3つの理念のもと、家庭、地域、学校、事業者、行政が連携して、次の5つを目標に具体的な施策を進めていきます。

(1) 子育て支援の推進

家庭等における子育て支援や、子育て支援に関する相談体制の充実と情報提供、ネットワークづくりの支援、子育て家庭への経済的支援など、子育て支援体制を充実させます。また、多様な保育ニーズに対応するため、さまざまな保育サービスを提供します。

(2) 安心して子どもを産み育てやすい環境づくり

子どもと母親の健康づくりと子どもが健やかに育つ家庭環境づくりのためのさまざまな取り組みを行い、子どもを持ちたい人が安心して子どもを産み、育てやすい環境づくりを進めます。

(3) 子どもと青少年が心身ともに健やかに成長するための環境づくり

子どもと青少年が多く時間を過ごす学校での教育環境の充実や、家庭や地域の教育力の向上、放課後児童の居場所の確保などに取り組みます。また、子どもと青少年の多様な体験、社会参加を促進するとともに、青少年を取り巻く環境の健全化に努め、安全・安心のまちづくりを推進していきます。

(4) 仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）の推進

事業主に対する広報、啓発等により男性を含めた働き方の見直しを進めるとともに、多様な保育サービスを提供します。また、父親の子育て参加を促進するなど、仕事と生活の調和の推進に向けた環境づくりを進めます。

(5) 特に支援を必要とする子どもとその家庭への支援の充実

児童虐待やひとり親家庭、障害児とその家庭等、困難を抱える子どもや家庭に対する相談体制を充実するとともに、さまざまな支援策を推進します。また、家庭の事情により児童養護施設等に入所している子どもを対象とした社会的養護の体制や支援の充実を図ります。